

DATA

敷地面積	227.76㎡ (68.8坪)
延床面積	118.95㎡ (35.9坪)
	1階 70.63㎡ + 2階 48.32㎡
構造・工法	木造軸組工法
用途地域	指定なし
建ぺい率	60%
容積率	200%
契約	2010年8月
竣工	2010年12月
家族構成	夫31歳+妻33歳+長男4歳+長女2歳
設計	VANX一般建築士事務所

主な設備機器・建材

システムキッチン	ハウステック
システムバス	ハウステック
洗面化粧台	オリジナル
便器	INAX (LIXIL)
サッシ	YKK AP
屋根材	ガルバリウム鋼板
外壁材	ガルバリウム鋼板、リシン吹付け

本体工事費

防水工事	12万5000円
仮設工事	55万0201円
基礎工事	104万6000円
木工事	560万6424円
屋根・板金工事	73万306円
外壁工事	31万2575円
金属製建具工事	80万円
木製建具工事	120万0271円
左官工事	110万9482円
石・タイル工事	129万8304円
塗装工事	47万1900円
雑工事	4万9700円
電気工事・屋外電気工事	63万円
給排水設備工事・屋外給排水工事・給湯器設備工事	200万3372円

合計 1594万5535円

坪単価 (3.3㎡当たり単価) 約44.4万円

付帯工事費・諸費用

地盤改良工事	112万8091円
造作家具工事	48万0240円
冷暖房・空調工事	64万1000円
照明器具取付工事	30万9856円
外構工事	48万7276円
設計・監理料	181万8000円

合計 487万2465円

費用合計 2081万8000円



15. 将来2部屋に仕切れる2階の子ども部屋は、今のところ遊び場として活用。屋根の真下となるが、2階の天井にも断熱材をたっぷり敷き詰め、断熱性を高めているので、夏でも暑くなりすぎない



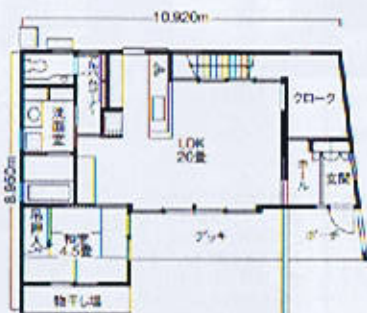
16. 子どもが幼いうちは、1階の和室が家族の寝室に。4.5畳の和室は、押入れを前に浮いたように作りつけ、床面を多く見せることで、実際以上の広がり感を出している



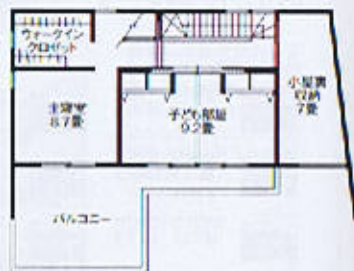
17. 2階の軒を大きくせり出させたMさん宅。陽差しを反射させる効果のある白色を外壁に用い、黒い茶の焼きスギでアクセントを付けた



このページからはじまる「夏涼しく冬暖かく」の事例レポートも見て理想の家づくりの参考にして。



1F



2F



9. デッキは、プールや食事を楽しむ場で大活躍。すべてのサッシまわりは、発泡ウレタンフォームで隙間なく埋めて気密・断熱性を高めている



11. 「トイレも広く」と、スペースをゆとり確保したトイレは、壁の一面に黒いクロスをはり、絵を掛けたりして、おしゃれな空間に。黒い壁の左上にあるのが、24時間換気システムの排気口。住まいの空気を循環させることで、均一な温度環境をつくる。12. 浴室は、断熱性のあるシステムバスを採用。トイレ同様、白と黒でシックに



13. 洗面室の壁面に、天井高のオープン収納を造作。市販の白いケースや黒いかごを使って、朝の身支度や風呂上がりを使う、タオルや洗面などをしまっている。14. 複層ガラスの高窓から陽が入って明るい洗面室に、オリジナルデザインの洗面台を造りつけた



10. 「家族の写真を手元に置きたいけれど、LDKに生活感を出したくない」という要望から、LDKと水まわりをつなぐ空間にアルバムコーナーを用意。「写真を見るたび、子どもの成長を実感します」

Mさん宅が「快適に過ごせる」ポイント

【知っておきたいKeyWord】

- 高性能グラスウール断熱材
グラス繊維の直径が一般的なグラスウールよりも細くなっていて、繊維と繊維の間に空気を含んだ特殊の断熱材のこと。
- フェノールフォーム保温板
もともとすぐれた断熱性をもっているフェノール樹脂(合成樹脂)を、発泡硬化させてつくられたプラスチック系断熱材のこと。
- 充填断熱工法
木造住宅の断熱性を高めるための工法のひとつ。柱や梁の間に断熱材などをしっかりと敷き詰めて、建物の断熱性を上げる。

小川博樹さん(VANX一般建築士事務所)

「高性能グラスウール断熱材」のよさ、を重視していたので、南側に掃き出し窓をつくり、北側に高窓を取りつけ、自然な通風を促せるように配慮しました。

Mさん夫妻が希望されていた「過ごしやすの家」を実現させるため、気密性と断熱性を高める工夫をしました。例えば、天井、壁、1階の床は、高性能グラスウール断熱材で包み、玄関のある三和土部分は、フェノールフォーム保温板を敷き詰めました。これらを使った充填断熱工法により、住まいの熱を逃がさず、外気温の影響も受けないようにしています。また、熱が逃げやすい窓は、すべて高断熱のLow-E仕様で陽差しを反射させるタイプの複層ガラスを採用しました。さらに、南側に1・8mの深い軒を設け、夏の陽差しをしっかりと遮っています。

高性能の断熱材で覆い、軒と自然換気の工夫を